

日本の医療産業を牽引する 世界のリーディングカンパニーへ

**取締役常務執行役員
経営企画室長
新宅 祐太郎**

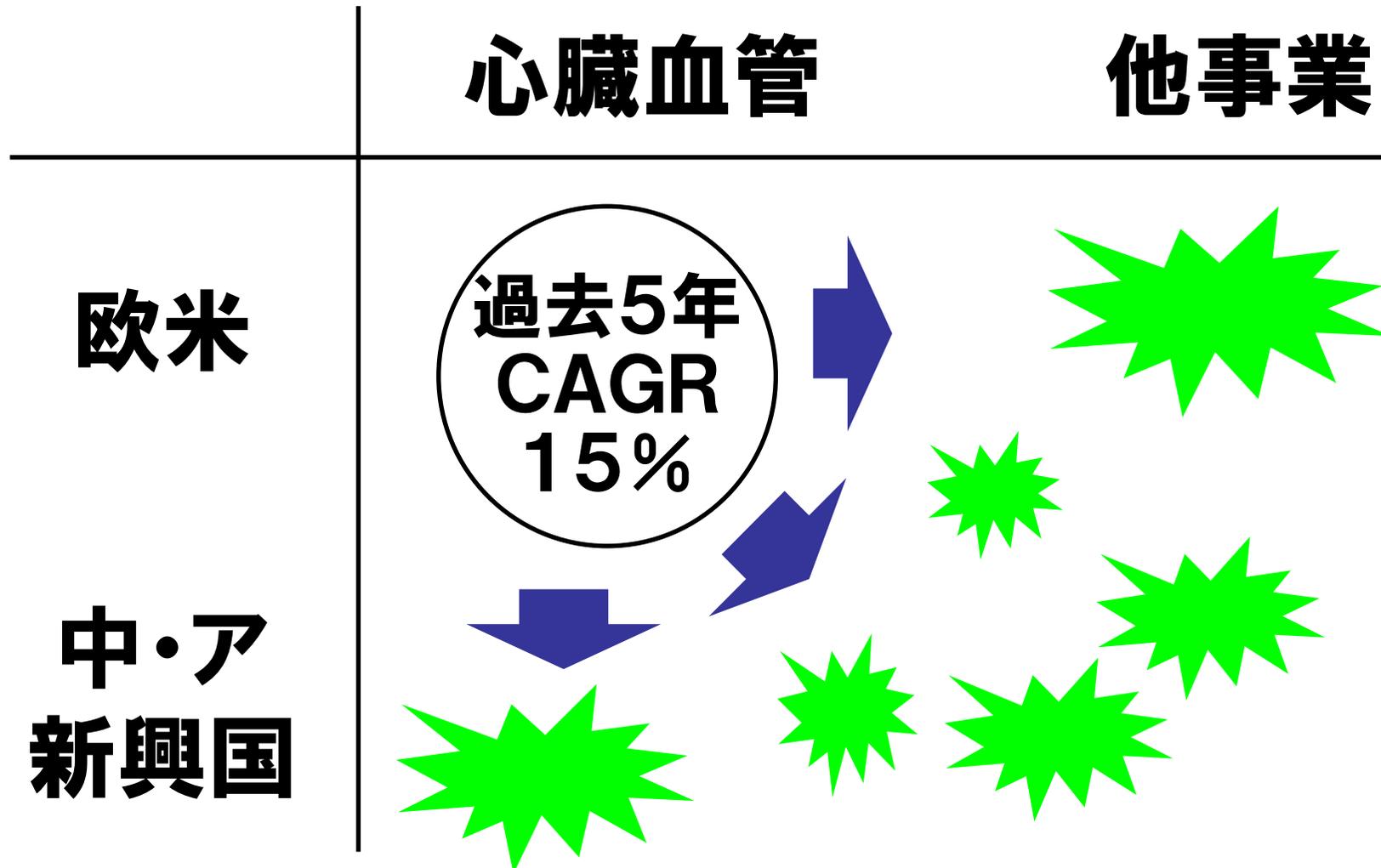
2010年 5月12日

大きな環境変化

- **中国・アジア・新興国**
 - 急速な医療インフラ整備
- **欧米の医療制度改革**
 - 医療経済性の要請
- **日本の成長産業・戦略的役割**
 - 優れた技術と医療を融合

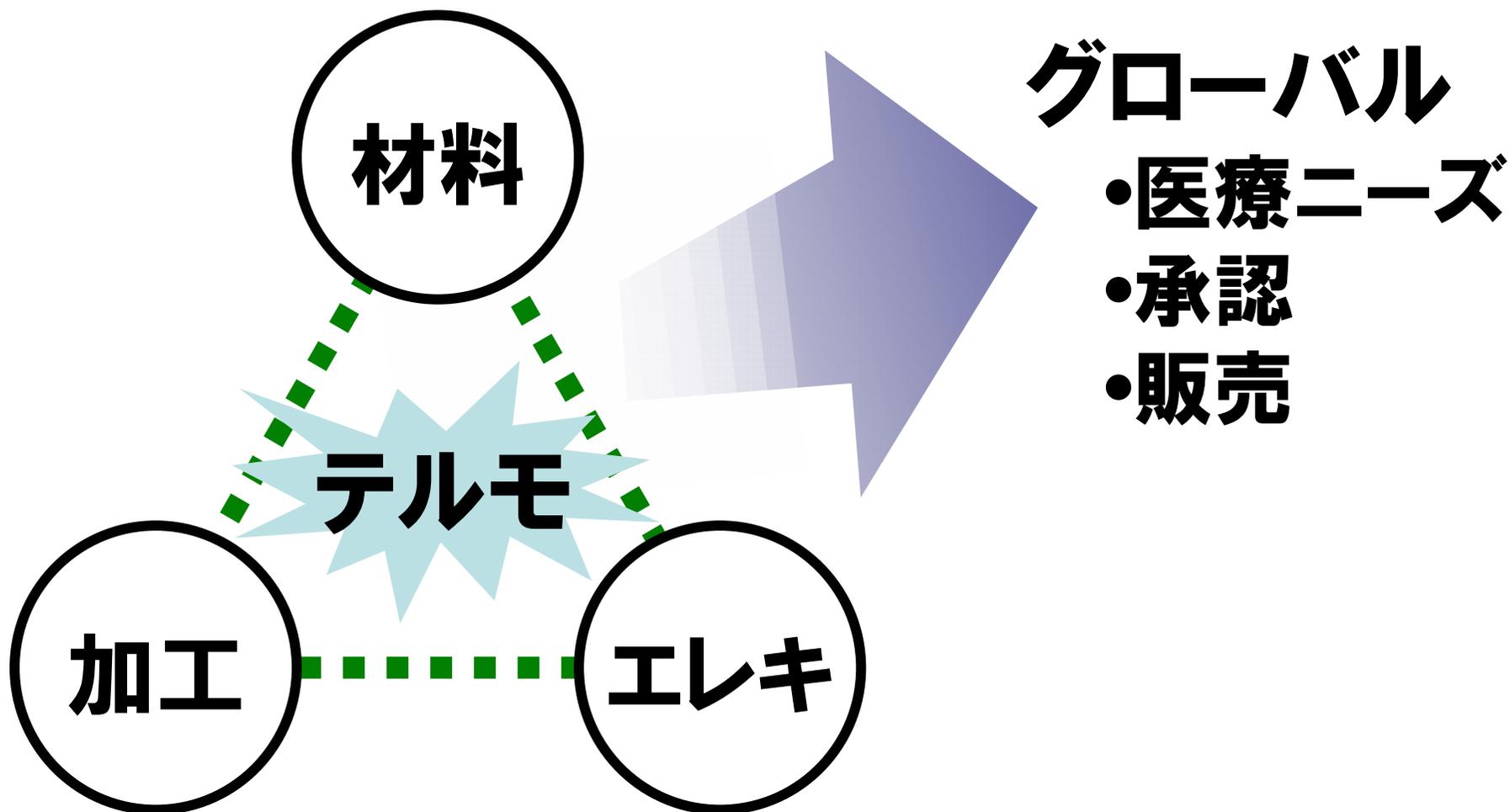
新しい成長の方向性

— 成長の軸の拡大 —



新しい成長の方向性

— 日本発のイノベーション —



その実現に向けて

- 1. 経営の進化**
- 2. 新しい成長機会の追求**
- 3. 国内基盤の強化**

1. 経営の進化

一人一人が考え行動する経営
“プライド”(チーム・組織横断)



- グローバルリーダーの育成
- 経営インフラ: SCM/IT...

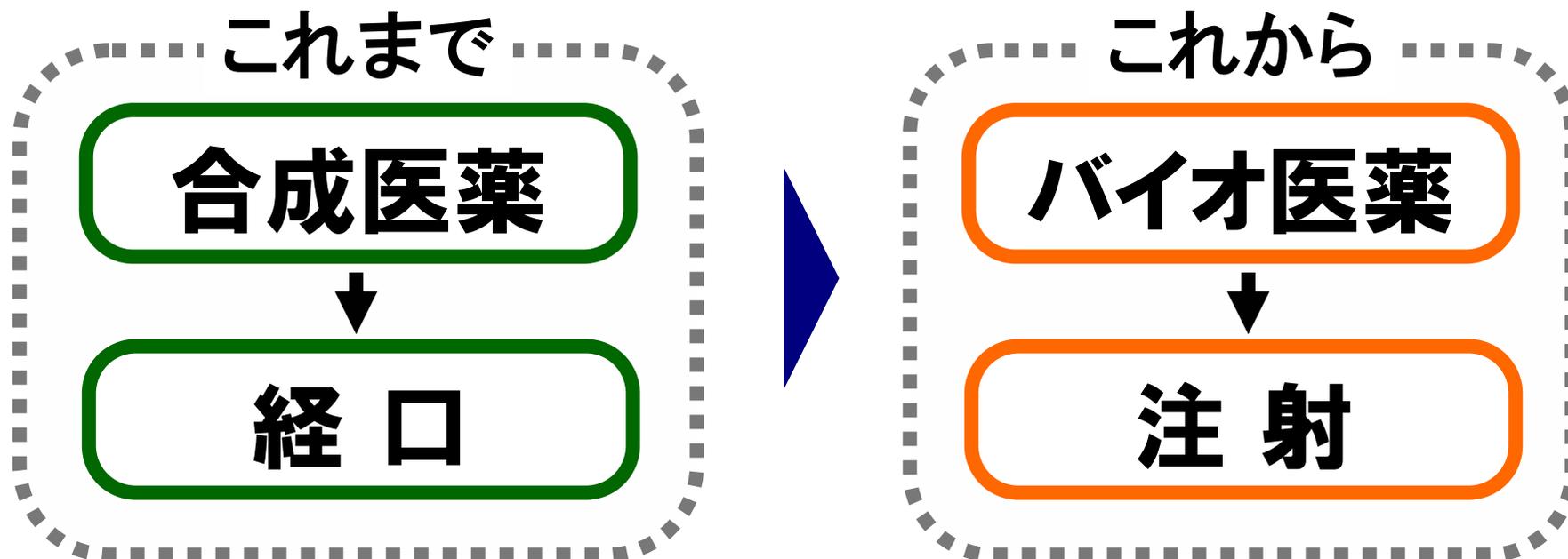
スピード・グローバル経営力の向上

2. 新しい成長機会の追求

- ① 新時代のドラッグ & デバイス
- ② グローバル糖尿病事業
- ③ 医療インフラとしての血液事業
- ④ 低侵襲治療のさらなる拡大
- ⑤ 普及期に入る補助人工心臓

2. 新しい成長機会の追求

①新時代のドラッグ&デバイス



バイオ医薬品は12兆円⇒10年で20兆円を超える

高付加価値の投与デバイスが急拡大

2. 新しい成長機会の追求

② グローバル糖尿病事業

10年後の治療者数は

- グローバル: 3~4倍に急増
- 中・ア・新興国: 先進国を超えて拡大



合併症によりQOL低下・医療費高騰

糖尿病の疾病管理に成長機会

2. 新しい成長機会の追求

③ 医療インフラとしての血液事業

- 先進国：製剤プロセスの効率化
- 新興国：血液供給体制の整備
 - WHO基準：献血率1%達成へ
 - 献血者数は0.3億⇒1.5億人に拡大



血液事業は新しい成長期へ

2. 新しい成長機会の追求

④ 低侵襲治療のさらなる拡大

■カテーテル技術の応用

- 心臓⇒脳・末梢・整形・・・
- 日本の繊細なものづくり・高い品質

■外科手術の低侵襲化

- 開腹・開胸⇒ロボット手術
- 早期回復：栄養・疼痛緩和

2. 新しい成長機会の追求

⑤ 普及期に入る補助人工心臓

小型化／高信頼性

移植待機

市場規模は200億円～

+ 長期使用

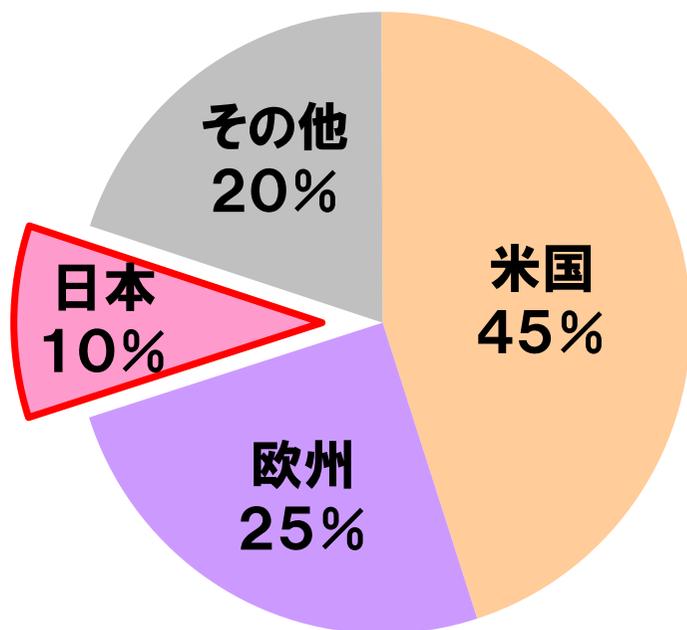
2020年には2000億円越える

+ 回復・離脱

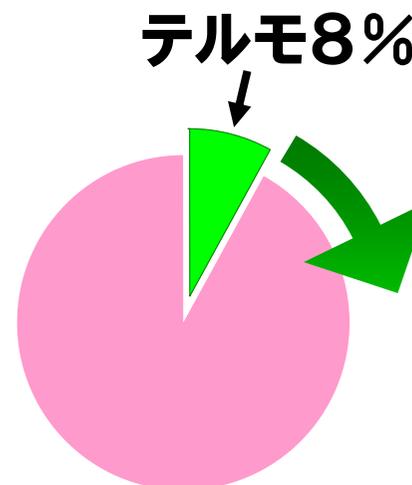
2025年以降、5000億円へ

3. 国内基盤の強化

世界の医療器市場
約20兆円



日本
約2兆円



国内基盤 ⇒ 世界での競争

**日本の医療産業を牽引する
世界のリーディングカンパニーへ**



10年以内に1兆円を実現

おことわり

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。